

テーマ①

宮崎青松会との持続発展可能な交流

青松会との連携も4年目を迎え、連絡や共催事業も円滑に行っています。
青松会と青年部が共に価値ある関係を築くため、持続的に行なっている活動をご紹介します。

<青年部から青松会への働きかけ>

①青松会のお稽古に参加

青松会のお稽古を担当されている先生の計らいにより、講師の補助として三役や役員が参加。

②青松会の初茶会への水屋協力

青松会が毎年1月に実施している初茶会の水屋に青年部役員が入り、動きなどサポート。

③青松会委員会の設置

青年部組織に青松会所属の青年部による委員会を設置することで、総会などのハイブリッド会議運営が可能になる。



<青松会から青年部への依頼>

・JCI宮崎の国際交流事業での茶道体験

年に1回は合同事業に取り組みましょう、という青年部からの打診で実現した共催行事。

→ 今年も感染症対策を講じながら、国際交流事業の中で、在宮崎外国人に浴衣の着付けと茶道体験を6月に行いました。言葉だけではなく、茶道文化を通じた交流で、感激する参加者の笑顔に開催意義を再確認できました。



新しい取り組みでも共催することで、両団体の得意分野を活かす事業になりました。伝統文化体験を取り入れたことで、国際交流というイベントの魅力を最大限伝えることができました。

国際交流事業やハイブリッド形式の総会を開催するなかで、各会場をオンラインで繋いだり、体験ブースの様子をSNSで紹介してもらうなど、青年部単体ではかなわない感染症対策と情報発信ができたことも大きな収穫でした。

<「宮崎青年部ZOOM講座」> Byコロナ～今年からのコラボ事業

・ZOOM講座での講師要請 ※Byコロナ・・・川越支部長発案。コロナがそばにあるという意味

近年は一同に会する行事が中止や延期となることが多いが、諦めることなく継続して「ZOOM講座」を計画。

経営者などが多い青松会メンバーは、さまざまなテーマで講師ができる人材の宝庫。全国で宮崎産大根を中心に漬物を展開しており、宮崎では知らない人がいない(株)野崎漬物の野崎君(青年部会員)に講師を依頼。今後も順次青松会メンバーに要請していく予定です。

<第5回宮崎青年部ZOOM講座>



青年部が青松会会員を通して地域の魅力を発見する機会にもなり相互理解を深める



成果：青松会から青年部へ4人の入会が実現(計9名)。
共催行事などで活動内容の理解が深まった中での入会に繋がり、三役などの要職にも継続して務めてもらうことができる。

《自由記述欄》写真、新聞の切り抜き等を貼付いただいても結構です。
本用紙は追加可能です。

「宮崎スタイル」の新しい取り組み

これまでの「宮崎スタイル」の取り組み

- ① 宮崎青松会との連携、合同行事の開催
- ② 青年部間交流、文化紹介活動で活動の拡大
- ③ Zoom研修による休眠会員・親・OB・他青年部・青松会との交流
- ④ リモートとリアルの併用



「学校茶道」との連携

コラボ企画第1弾！！

令和3年7月

学校茶道「夏の茶会」のオンライン配信を提案。そのサポートを青年部が行なう形でコラボを計画。しかし・・・「夏の茶会」が中止となりコラボは実現せず

このコロナ禍で所属の異なる学校茶道と何ができるのかを検討

学生に直接聞いてみよう！！
青年部のことをもっと知ってもらいたい！！

そこでコラボ企画第2弾！！

学校茶道で学ぶ生徒・学生へ茶道に関する

「意識調査アンケート」と青年部紹介パンフレットの配布を実施

《実施スケジュール》

令和3年10月 幹事長に相談し承諾を得る

↓
資料作成に入る

↓
12月 総本部に企画内容・作成した資料を添付したメールを送り実施許可を得る

↓
幹事会にて支部役員の先生方の承認を得る
学校茶道協議委員の承認を得る

↓
令和4年1月 企画書・アンケート依頼文の配布(郵送)開始

↓
3月末 アンケートを締め切る

↓
4月 青年部総会で中間報告今

↓
6月 最終報告書を作成し総本部へ提出
青年部役員内で結果をもとにコラボ

《アンケート対象》

(学校茶道で学んでいる)

中学生・高校生
大学・短期大学生

《配布資料》

- ① 企画書(学校・指導者のみ)
- ② アンケート協力への依頼書

学校・裏千家指導者・学生(保護者)
それぞれに配布

《実施方法》

googleのFormを使って作成
ウェブアンケートで実施した

《利点》

- ・フォーマットがあり簡単にアンケート作成が可能
- ・QRコードを利用しスマホから簡単に入力ができる

《自由記述欄》 写真、新聞の切り抜き等を貼付いただいても結構です。
 本用紙は追加可能です。

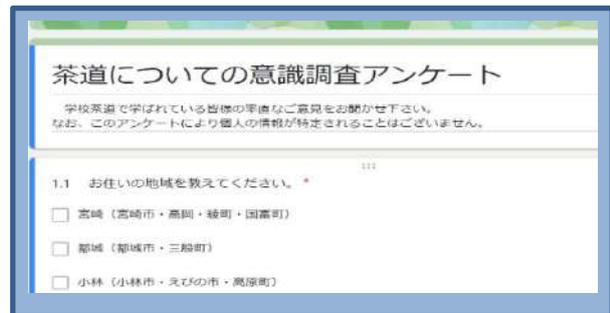
《アンケート内容》

【10の大項目と小項目合わせて16問 無記名回答】

- ① 住んでいる地域・学年を選択
- ② 茶道を始めたきっかけについて
- ③ 茶道は好き？どんなところが好き？好きじゃないところは？
- ④ 学校卒業後も茶道を続けていきたい？その理由は？
- ⑤ 裏千家には青年部があることを知っている？
- ⑥ 青年部活動で興味があるものがある？（選択肢あり）
- ⑦ 青年部に入会してみたい？青年部ネット会員に登録してみたい？
- ⑧ 「文化力応援企業（団体）登録制度」を知ってる？
- ⑨ 今後茶道を通してやってみようと思うことがある？

【工夫した点】

- ◎ 選択回答を多く作成し
7～10分程度で回答できるように
- ◎ 本年度から進められている
「青年部ネット会員」や
「文化力応援企業（団体）登録制度」
についてもふれ、いろいろな活動や支援
があることを知ってもらえるように



作成したウェブアンケート

《宮崎青年部紹介のパンフレット》

茶道を愛好する会員が揃い、お茶会の開催、和菓子づくり、灰形や古帛紗作りの勉強会など様々な活動を楽しみながら行なっています。
 コロナ禍となってからは ZOOM を使ったリモート講座を開催。
 茶道に詳しい講師についても学べる環境作りをしています。
 裏千家交流会では青年部で学ぶ学生の就職活動支援も行っています。
 （文化力応援企業支援制度）
 私たちと一緒に学んでみませんか？

＜入会費＞
 50歳までの裏千家茶道愛好者であれば茶室の研修・資格の取得を助けません。
 （交流会の正副支部長・支部顧問・終身正会員以上の教授者・学校茶道指導者 1 月以上の研修を修得ください。）

＜年会費＞
 25歳以下 1,000円/年
 25歳以上 3,000円/年

詳しくは
 裏千家交流会青年部ホームページ
<http://www.urasenke.or.jp/texts/01/an/seinen/index.html>
 九州ブロックホームページ
<https://www.urasenke-kyushu.com/>

＜問い合わせ先＞
 上記までご連絡ください。
 担当 吉田悠子

青年部の活動内容を具体的に簡潔にまとめています。

裏千家交流会では青年部で学ぶ学生の就職活動支援も行っています。
 （文化力応援企業支援制度）
 私たちと一緒に学んでみませんか？

裏千家の就職支援活動についても紹介しています。

裏千家交流会青年部ホームページ
<http://www.urasenke.or.jp/texts/01/an/seinen/index.html>
 九州ブロックホームページ
<https://www.urasenke-kyushu.com/>

紙での配布ではありますが、HPを記載し興味がある方がアプローチしやすくしています。

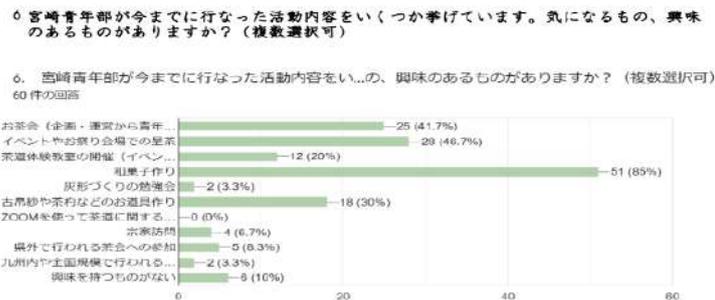
支部幹事長からも青年部のPR活動に力を入れるようご指導いただき、このような紹介パンフレットを親支部の茶会の際に配布させていただきたいと思っています。

《自由記述欄》 写真、新聞の切り抜き等を貼付いただいても結構です。
 本用紙は追加可能です。

《アンケート結果報告書》

お茶会（企画・運営から青年...
 イベントやお祭り会場での呈茶
 茶道体験教室の開催（イベン...
 和菓子作り
 灰形づくりの勉強会
 古帛紗や茶杓などのお道具作り
 ZOOMを使って茶道に関する...
 宗家訪問
 県外で行われる茶会への参加
 九州内や全国規模で行われる...
 興味を持つものがない

中間報告資料（一部抜粋）



アンケート依頼書配布数 約160枚
 回答数 60件 (中学生1名・高校生53名・大学生6名)
 回答率 38%

《アンケート結果》

- ①茶道が好きとの回答が80%だが、卒業に続けている者が13%と少なく、続けない理由として続ける環境がない、続け方がわからないとの回答が31%に達している
- ②青年部の存在を知っていたのは3.3%（2名）とほとんど知られていない。だが、アンケート内にあった青年部の活動内容を見て、25%（15名）の学生が入会してみたいと答えている
- ③「文化力応援企業（団体）登録制度」については知っていたのは1名のみ
- ④やってみたいことは多い順に①和菓子づくり②茶会・茶事③茶道をしている人との交流や異文化交流など
- ⑤今回、年内にコラボ企画ができないかと年始めからアンケートを実施したが、部活動としては3年生がすでに引退している、学校としても多忙な時期であった。また、コロナ禍により部活動が行われていない学校も多く、回答率が38%と低かった。

《アンケート結果を受けて今後の活動計画》

- ①卒業後も茶道を学びたい、また青年部活動に興味を持っている者も多くいることが分かった。
 また青年部のことを知らない学生がほとんどであることから、私たち青年部ががもっとPR、アプローチを試みれば、新入会員の拡大の可能性がある。
⇒ 学校茶道の先生方を通して青年部の広報活動、アプローチを定期的に行う
- ②興味を持っている和菓子作り、茶会・茶事、異文化交流などどれも青年部での企画実行が可能なもの
⇒ 青松会とも連携を取りながらコラボ企画を検討
- ③アンケート実施によりわかることも多く、青年部の広報活動にもなる
⇒ 実施時期を5月～11月とし、定期的かつ長期的に実施し連携活動に活かす

《今後の課題》

アンケートはウェブ形式で行い集計作業などの簡素化が図れたが資料については印刷したものを配布（郵送）となり、必要数の把握、印刷物を送る郵送代金などの経費が発生した。

理由等としては

- ①学校茶道と青年部と部署が異なることからデータから印刷する経費が学校茶道（先生方）に発生
 - ②先生方の多くがメール、添付ファイルでのデータのやり取りなどのデジタル対応が難しい場合がある
- 以上の点をクリアにできれば、このアンケートの実施はとてもスムーズ・低予算での実施が可能
 次年度に向けて

- ①に関しては学校茶道協議委員の先生方と検討したい
- ②Zoomの使用方法的講座を青年部で企画したのと同様に資料やマニュアルの作成を検討

今後も継続してアンケートやコラボ企画を実施できる体制を構築していきたい。

《自由記述欄》 写真、新聞の切り抜き等を貼付いただいても結構です。
本用紙は追加可能です。

申請項目6.他ブロック・青年部との交流
他ブロック・青年部との交流について

コロナ下であっても、否、だからこそ、未来への布石としてデジタルの可能性を広げておこう
と考え、現在合計4回のリモート講座を開いている。

- ・野崎漬物様(JC 宮崎青松会所属)
- ・夢茶房様(宮崎地元の茶園様)
- ・花と風(長崎青年部 部長 廣田亮作様)
- ・富岡泰雅堂様(広島第一青年部 部長 富岡真典様)

※詳細は行事報告書にて報告

デジタルの特性として、費用・時間・空間の制約を超えた事で、一見「茶道」から遠いように見える
(本当は深く関係している)地場の産業の方々の協力も得られやすくなったと考えるし、
参加者の方のメリットとしても、実際、夕食後の小時間としたことで、例えば、子供と一緒に
参加されている方もおられる等、実態が伴っていたと思われる。

実際に、毎回30人弱の参加者がおられた。

確実に、「まず知ってもらう」という事には、成功していると考えてるので、今後は、ネット会員に結び付ける
等「試行錯誤」、「改善」しながら、挑戦していきたいと考える。

申請項目4.7.親支部との連携 ITの活用、活発な広報活動(コロナ禍での充実した活動推進を含む)
様々な理由で活動に参加出来ない方を取り込む活動

ITを用いた合理化について、宮崎青年部も積極的に取り組んでいる。
その中で、私がお茶人らしいな、お茶の組織らしいなど「感動」した事は、

- ・ITが苦手な方々へも配慮し続けている(極端に苦手な方や親支部の先生方等)

という点である。例えば、一般の社会/特に企業であれば、目の前の「利益」、「合理化」を迫及する
あまり、そういった方々の自助に任せたり、場合によっては、置いていってしまった事が多々あり、
私もどちらかというと、自助を過信していた部分があったかと反省している。

しかしながら、他役員が率先して 上記の講座前に、ITの講習を開いたり、マンツーマンで
教えにいたり、当日も出向いて、横で手伝ったりといった事をされていた。

その効果で、最初は参加を諦めかけていた不得手な方や、先生方も、少しずつ参加されたり、
慣れてこられたりしている様に思われる。

こういった役員の実行は言う事は簡単だが、中々出来る事ではないなと感じた。

短期的には、「手間」がかかり、非効率に思われるが、御茶を習うものとして、
御茶の組織として、正しいし、中長期的には、こういった他者に対する「心」こそが、大きな力に
なるのではないかと、これこそが御茶のパワーではないかと感じた。

